

株式会社タケエイ (東1: 2151)

2022年3月期

第1四半期 決算補足説明資料



芝公園周辺のゴミ拾い (株タケエイ本社)



側溝の清掃 (株タケエイグリーンリサイクル)



車両搬入路周辺の清掃 (株グリーンアローズ関東)

5月30日(ごみゼロの日)の環境美化活動(タケエイ、関係会社)

目次

当第1四半期決算の概況【連結】	p. 3
市場環境	p. 4
直近3事業年度における四半期比較【連結】、【タケエイ】	p. 5-8
事業カテゴリー別売上高及び営業利益<前期比較>	p. 9
グループ各社の売上高及び営業利益<前期比較>	p. 10
事業カテゴリー別売上高 増減分析 (前年同期比)	p. 11
「収益認識に関する会計基準」等の適用による会計方針の変更について	p. 12
事業カテゴリー別営業利益 増減分析 (前年同期比)	p. 13
設備投資・減価償却費、従業員数・車両台数	p. 14
2022年3月期の決算見通し【連結】	p. 15
【ご参考】リバーホールディングス株式会社との経営統合について	p. 16
【ご参考】東金市におけるバイオマス発電計画/株門前クリーンパーク	p. 17
免責事項	p. 18

当第1四半期決算の概況【連結】

単位：百万円(百万円未満切捨て)

	2020/6 <実績>		2021/6 <実績>			
	売上高比		売上高比	前年同期比	上期 業績予想	進捗率
売上高	9,035	—	10,229	+13.2%	21,700	47.1%
営業利益	650	7.2%	933	+43.5%	1,950	47.9%
経常利益	623	6.9%	901	+44.7%	1,840	49.0%
四半期純利益◆	316	3.5%	503	+59.1%	1,100	45.7%

◆親会社株主に帰属する四半期純利益

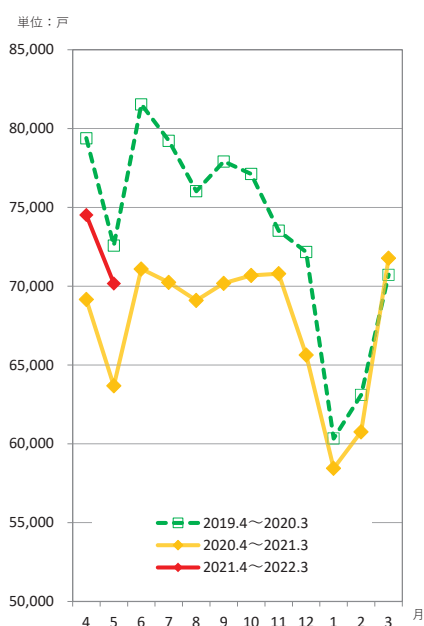
- ・売上高・営業利益ともに、第1四半期としては過去最高
- ・2020年5月15日に公表した中期経営計画『2023 to the FUTURE』2年目の目標進捗率も順調

業績に影響を与えた要因

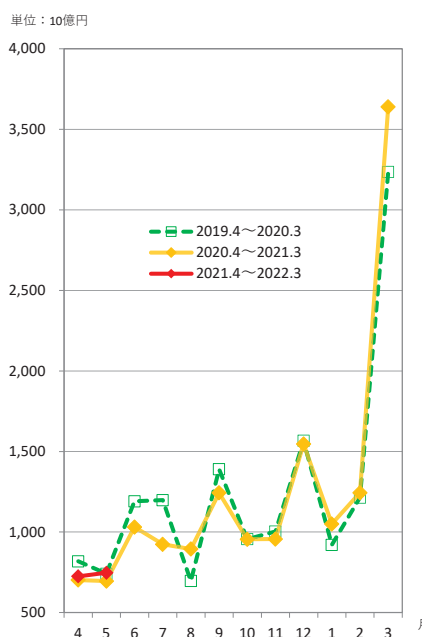
- ・㈱タケエ各中間処理工場の安定稼働及び原価低減策（有価物の分選別強化、廃棄物の製品化）継続、福島県内で複数参画している東日本大震災復興プロジェクトが貢献。
- ・㈱北陸環境サービスはスポット案件が寄与。イコールゼロ㈱は災害廃棄物処理支援事業が寄与し、廃液処理も堅調。
- ・㈱ギプロ、㈱グリーンアローズ関東、㈱タケエイメタルも回復基調に。
- ・市原グリーン電力㈱は、定期修繕に追加して補修工事を実施したことにより稼働日数が減少。
- ・「収益認識に関する会計基準」等の適用による会計方針の変更。（p. 12をご参照下さい）

市場環境

新設住宅着工戸数



建設工事受注（大手50社）



【新設住宅着工戸数】 コロナ禍以前の水準には及ばないものの、回復基調にある。
 【建設工事受注(大手50社)】 公共工事の増加等により着実に回復。

(出処：国土交通省)

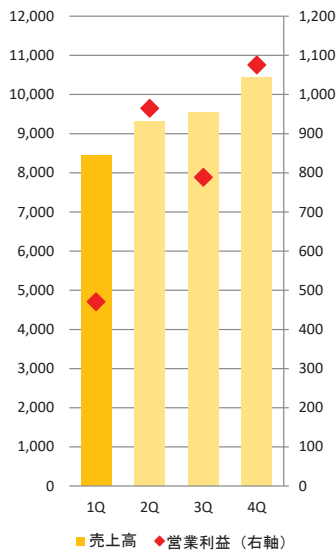
※前期まで公開していた「建設工事受注」グラフは、令和3年4月より推計方法が変更になったため除外

直近3事業年度における四半期比較【連結】

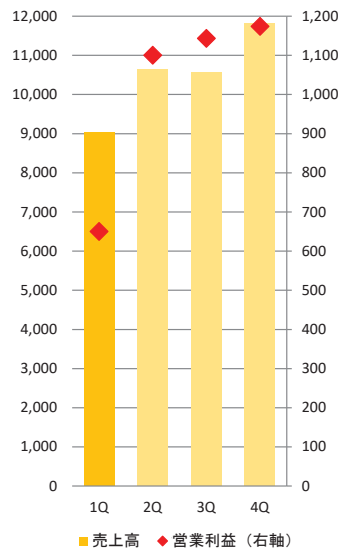
※グループ会社の業績はp. 10をご参照ください。Only One Earth



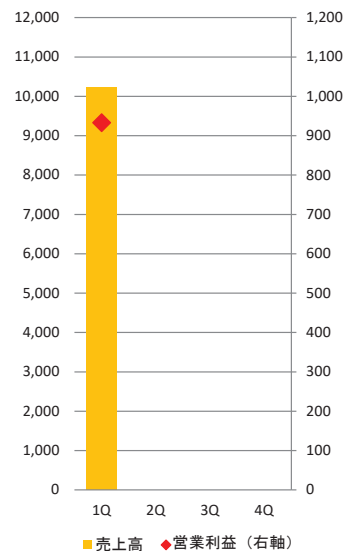
2020年3月期
売上高・営業利益



2021年3月期
売上高・営業利益



2022年3月期
売上高・営業利益



(単位：百万円)

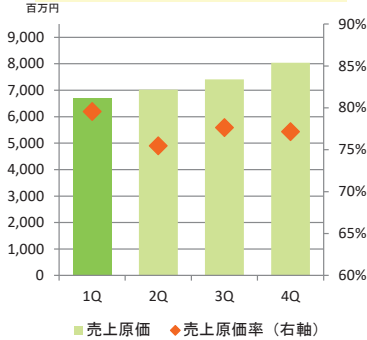
増収は、(株)ギプロ、(株)グリーンアローズ関東、(株)タケエイメタル、(株)北陸環境サービス、(株)信州タケエイ、環境保全(株)が貢献。
前期第2四半期より連結業績に含めた市原グリーン電力(株)と、当期4月より営業運転を開始した(株)田村バイオマスエナジーも寄与。
増益は、(株)タケエイ、(株)ギプロ、(株)グリーンアローズ関東、(株)タケエイメタル、イコールゼロ(株)、(株)北陸環境サービス、(株)信州タケエイ、環境保全(株)が貢献。

直近3事業年度における四半期比較【連結】

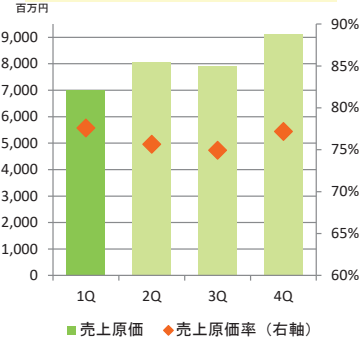
Only One Earth



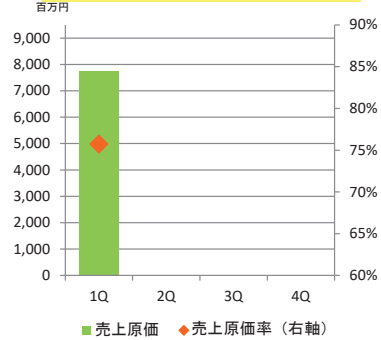
2020年3月期
売上原価・売上原価率



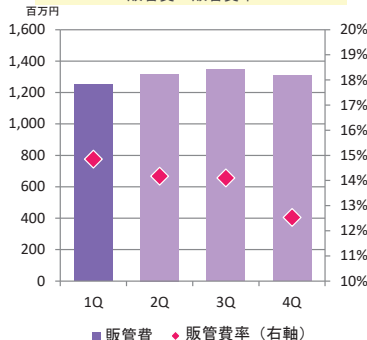
2021年3月期
売上原価・売上原価率



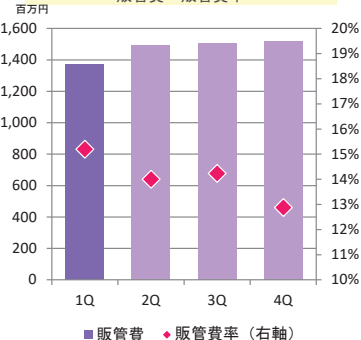
2022年3月期
売上原価・売上原価率



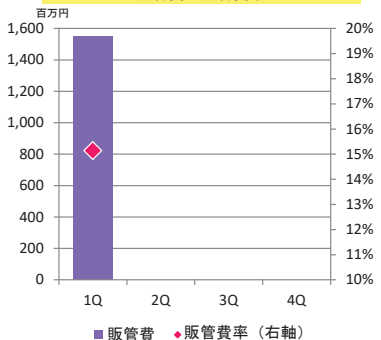
販管費・販管費率



販管費・販管費率

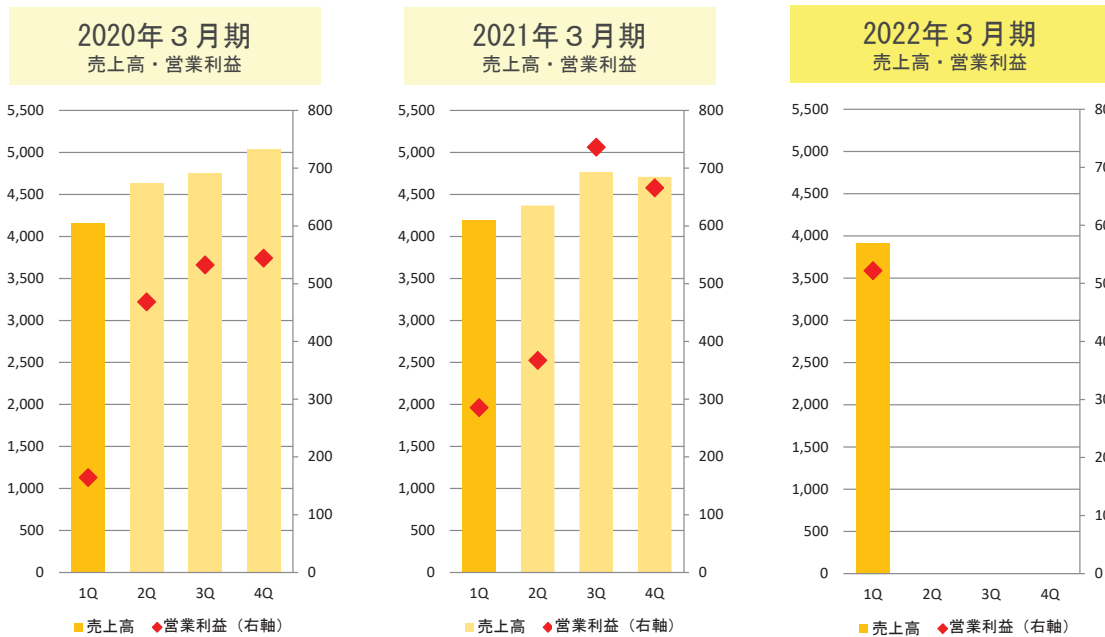


販管費・販管費率



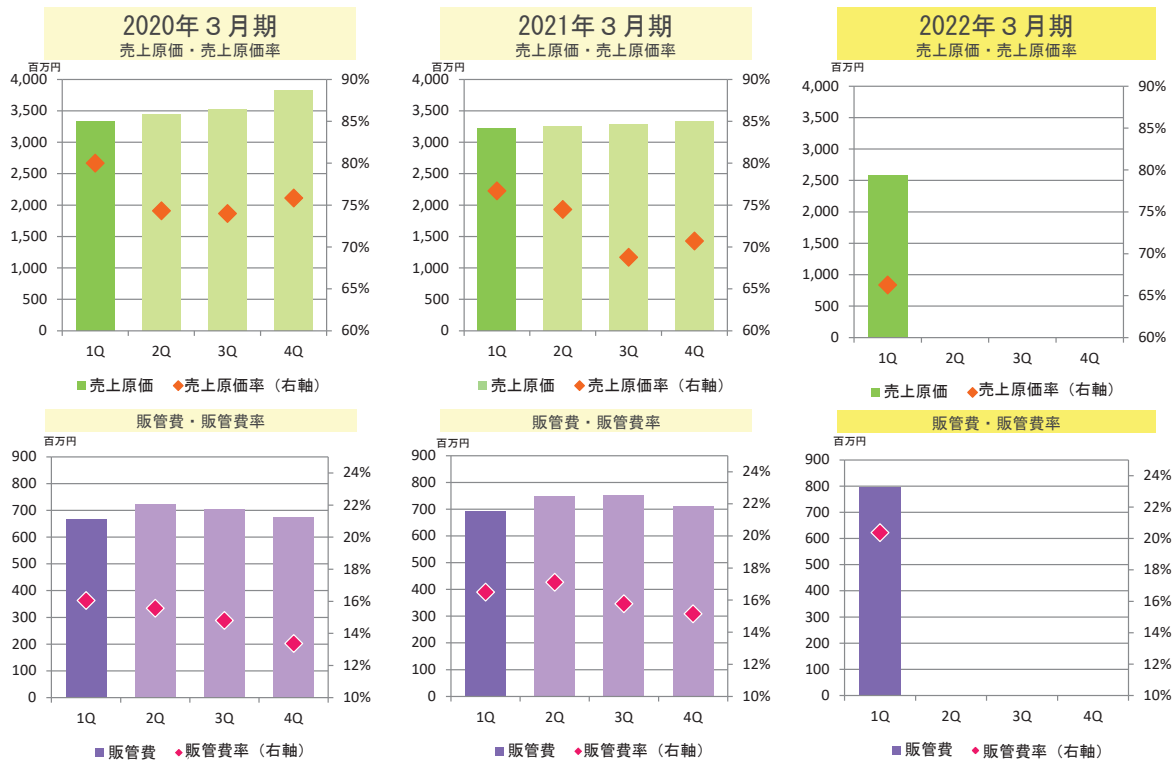
直近3事業年度における四半期比較【タケエイ】

(単位：百万円)



・売上高は、処分・収運以外の「その他売上」減少により減収 (p. 12もご参照下さい)。
 ・営業利益は、中間処理工場の安定稼働や原価低減策の継続、福島県内の復興プロジェクト等の寄与により、第1四半期としては高位で推移。

直近3事業年度における四半期比較【タケエイ】



事業カテゴリー別売上高及び営業利益<前期比較>

単位: 百万円

	売上高			営業利益			営業利益率	
	2020/6	2021/6	前年同期比	2020/6	2021/6	前年同期比	2020/6	2021/6
連結	9,035	10,229	+13.2%	650	933	+43.5%	7.2%	9.1%
<廃棄物処理・リサイクル事業>	5,900	5,826	-1.3%	493	967	+96.1%	8.4%	16.6%
㈱タケエイ	4,200	3,910	-6.9%	285	522	+83.0%	6.8%	13.4%
<マテリアル&ランドフィル>	1,700	1,916	+12.7%	208	445	+114.1%	12.2%	23.2%
<再生可能エネルギー事業>	2,308	3,699	+60.3%	110	44	-60.5%	4.8%	1.2%
<環境エンジニアリング事業>	1,219	1,060	-13.1%	54	-47	-	4.4%	-
<環境コンサルティング事業>	277	330	+19.0%	15	36	+146.7%	5.3%	11.0%
連結消去	-669	-685		-21	-67			

※百万円未満 四捨五入(連結数値のみ切捨て)

注1 : 事業カテゴリー別の数値は、グループ各社の連結消去前売上高、営業利益を単純合算。

注2 : <再生可能エネルギー事業>の営業利益は のれん償却前の金額。市原グリーン電力㈱の のれん償却は83百万円、㈱タケエイグリーンリサイクルの のれん償却は10百万円。

注3 : 公表日時点で監査未了。

グループ各社の売上高及び営業利益<前期比較>



単位: 百万円

会社名	売上高			営業利益			営業利益率		主な業務
	2020/6	2021/6	前年同期比	2020/6	2021/6	前年同期比	2020/6	2021/6	
連結	9,035	10,229	+13.2%	650	933	+43.5%	7.2%	9.1%	
〈廃棄物処理・リサイクル事業〉									
(株)タケエイ	4,200	3,910	-6.9%	285	522	+83.0%	6.8%	13.4%	建設廃棄物等の収集運搬・中間処理・再資源化・最終処分
〈マテリアル〉									
(株)池田商店	160	140	-12.8%	46	16	-64.0%	28.4%	11.8%	再生骨材・再生砕石への再資源化
(株)ギプロ	164	203	+23.4%	56	94	+66.1%	34.3%	46.2%	石膏ボードの再資源化
(株)グリーンアローズ関東	96	119	+24.6%	-8	31	—	—	25.6%	同上
(株)グリーンアローズ東北	70	67	-5.3%	-9	12	—	—	17.3%	同上
(株)タケエイメタル	98	144	+46.4%	-4	26	—	—	17.9%	鉄・非鉄スクラップの再資源化
東北交易(株)	58	63	+7.1%	2	9	+311.7%	3.7%	14.1%	汚泥・燃えがら・ばいじん類・鉱さい等由来の再生砕石製造(再資源化)
イコールゼロ(株)	365	362	-0.7%	24	88	+266.2%	6.6%	24.3%	廃液処理・有害産業廃棄物処理・再資源化
〈ランドフィル〉									
(株)北陸環境サービス	332	395	+18.8%	81	131	+60.8%	24.5%	33.2%	管理型最終処分場の運営
(株)信州タケエイ	328	379	+15.8%	23	38	+62.2%	7.1%	9.9%	産業廃棄物・一般廃棄物の収集運搬・中間処理・再資源化・解体等
(株)タケエイエナジー&パーク	29	45	+57.1%	4	14	+247.6%	14.2%	31.5%	最終処分場の跡地利用(パークゴルフ場運営・太陽光発電)
(株)門前クリーンパーク	—	—	—	-7	-11	—	—	—	管理型最終処分場<事業準備会社>
〈再生可能エネルギー事業〉									
市原グリーン電力(株)	—	919	—	—	-40	—	—	—	木質バイオマス発電 ※前期第2四半期より連結業績に含めた
(株)津軽バイオマスエナジー	428	369	-13.8%	45	20	-55.5%	10.5%	5.4%	木質バイオマス発電
(株)津軽あつぷるパワー	35	101	+187.3%	5	6	+33.6%	13.1%	6.1%	小売電気事業
(株)花巻バイオマスエナジー	378	355	-6.1%	48	22	-54.3%	12.8%	6.2%	木質バイオマス発電
花巻バイオチップ(株)	174	179	+3.0%	9	6	-28.6%	4.9%	3.4%	木質バイオマス発電用燃料の製造・供給
(株)花巻銀河パワー	78	149	+91.5%	16	34	+120.8%	20.0%	23.1%	小売電気事業
(株)田村バイオマスエナジー	—	307	—	-21	-17	—	—	—	木質バイオマス発電 ※2021年4月7日より営業運転開始
(株)タケエイグリーンリサイクル ※	487	460	-5.5%	-102	-77	—	—	—	木質バイオマス発電・生木等の再生資源化・再生エネルギー原料化
(株)横須賀アーバンウッドパワー	131	151	+15.3%	27	25	-5.5%	20.3%	16.6%	小売電気事業
(株)大仙バイオマスエナジー	427	412	-3.6%	44	42	-4.9%	10.4%	10.3%	木質バイオマス発電
(株)大仙こまちパワー	157	146	-6.8%	42	22	-48.4%	26.6%	14.7%	小売電気事業
(株)ふくしま未来パワー	—	87	—	※※ -0.02	-6	—	—	—	小売電気事業
(株)津軽エネベジ	3	3	+10.2%	-2	※※ 0.4	—	—	14.6%	農作物の生産・販売
(株)タケエイ林業	10	60	+504.9%	1	4	+663.4%	5.8%	7.4%	山林の経営・管理・保全、バイオマス原料の生産・販売等
(株)T・Vエナジーホールディングス	—	—	—	※※ -0.2	※※ -0.2	—	—	—	再生可能エネルギー事業への投融資・運営
〈環境エンジニアリング事業〉									
富士車輛(株)	1,219	1,060	-13.1%	54	-47	—	4.4%	—	環境プラント・車輛等の開発・製造・販売
〈環境コンサルティング事業〉									
環境保全(株)	157	210	+33.7%	※※ 0.5	25	+5147.2%	0.3%	11.7%	環境計量証明事業、環境コンサルティング
(株)アースアプレイザル	120	120	-0.2%	14	12	-18.0%	11.8%	9.7%	環境コンサルティング
連結消去	-669	-685		-21	-67				

※ 2020年5月1日に(株)タケエイグリーンリサイクルが(株)横須賀バイオマスエナジーを吸収合併。前期売上高及び営業利益には、(株)横須賀バイオマスエナジーの2020年4月分も含む

※※ 少額のため小数点以下も表示

※百万円未満 四捨五入(連結数値のみ切捨て)

事業カテゴリー別売上高 増減分析（前年同期比）

廃棄物処理・リサイクル事業

（株）タケエイ 自社処分・収集運搬売上以外の「その他売上」が減少したことによって減収。（次ページもご参照ください）

マテリアル&ランドフィル

（株）キプロ、（株）グリーンアローズ関東、（株）タケエイメタルはコロナ禍による不調から回復傾向。（株）北陸環境サービスはスポット案件が寄与。（株）信州タケエイも環境・解体ともに順調。

再生可能エネルギー事業

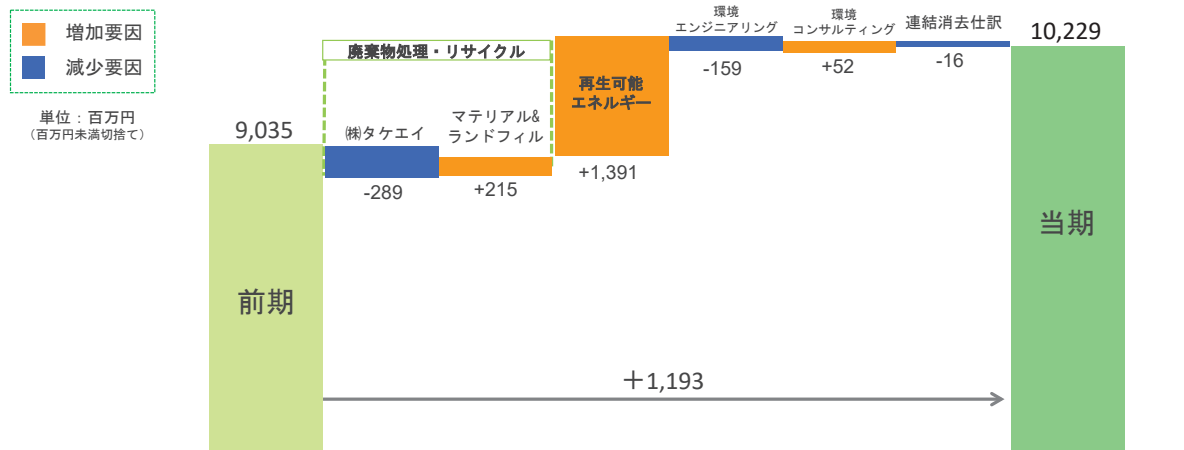
（株）田村バイオマセナジーが2021年4月より営業運転を開始。前年同期は連結業績に含めていなかった市原グリーン電力も寄与。

環境エンジニアリング事業〔富士車輛（株）〕

コロナ禍による営業活動制約の中で、前年度の受注残高が減少し、減収。

環境コンサルティング事業

環境保全（株）は、大気汚染防止法改正(2021.4～)に伴いアスベスト分析事業が好調。（株）アースアプレイザルはコロナ禍による営業活動制約により減収。



（注）1： 数値は、グループ各社の連結消去前売上高の増減を単純合算。

「収益認識に関する会計基準」等の適用による会計方針の変更について

「収益認識に関する会計基準」等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することに変更いたしました。

- ① 環境エンジニアリング事業及び環境コンサルティング事業において、従来は長期大型案件のみ進捗度に応じて売上と利益を認識し、その他の案件は検収時に売上と利益を認識する方法を採用していたが、当期より全ての案件について、進捗度に応じて売上を計上する方法に変更。ただし長期大型案件以外の案件は、検収時点まで原価と同額を売上として計上していく方法を採用（原価回収基準）。
- ② 廃棄物処理・リサイクル事業の「その他売上」のうち代理人取引に係る収益について、従来は顧客から受け取る代金の総額を収益として認識していたが、顧客への財又はサービスの提供における役割（本人又は代理人）を判断した結果、純額で収益を認識する方法に変更。
- ③ 廃棄物処理の過程で発生する金属スクラップ等「有価物」の売却代金は、従前は売上原価から控除していたが、当期より売上高に変更。

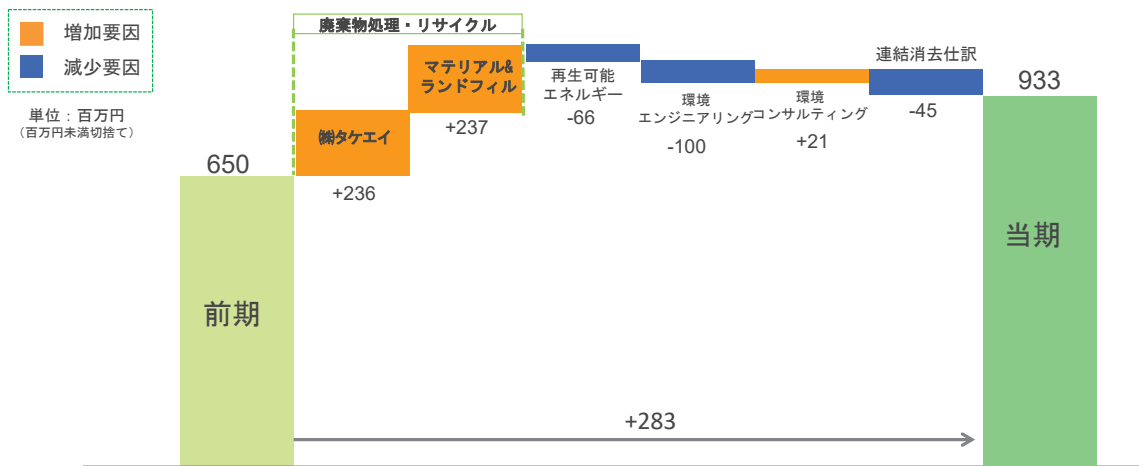
各事業セグメント及び連結業績への影響額は以下の通りです。

	廃棄物処理・リサイクル	再生可能エネルギー	環境エンジニアリング	環境コンサルティング	単純合算	連結調整	連結
売上高	-197	0	225	2	30	45	75
売上原価	-197	0	225	2	30	45	75
売上総利益	0	0	0	0	0	0	0

事業カテゴリー別営業利益 増減分析（前年同期比）

廃棄物処理・リサイクル事業

- ㈱タケエイ**
 福島県での復興PJや、中間処理工場における有価物採取強化・廃棄物製品化の取組みが寄与。
- マテリアル&ランドフィル**
 イコールゼロ㈱は災害廃棄物処理支援が寄与(2019年の台風19号関連)。㈱北陸環境サービスはスポット案件が寄与。㈱信州タケエイも環境・解体ともに順調。
- 再生可能エネルギー事業**
 ㈱タケエイグリーンリサイクルは、発電部門は安定稼働しつつあるものの、コロナ禍による案件遅延等により剪定枝処理が低調。市原グリーン電力㈱は定期修繕に追加して補修工事を実施したことで稼働日数減少。
- 環境エンジニアリング事業〔富士車輛㈱〕**
 前年同期は上期としては好調だったことによる反動
- 環境コンサルティング事業**
 環境保全㈱は、大気汚染防止法改正(2021.4～)に伴いアスベスト分析事業が好調。



(注) 1 : 数値は、グループ各社の連結消去前営業利益の増減を単純合算。

設備投資・減価償却費、従業員数・車両台数

<設備投資・減価償却費>

	2021年3月期 (1Q)計画	2022年3月期 (1Q)実績	2021年3月期 (通期)実績	2022年3月期 (通期)※予想
設備投資				
連結	1,321	597	7,908	5,662
(うち ㈱タケエイ)	723	214	1,916	2,142
減価償却費				
連結	876	1,028	4,151	4,578
(うち ㈱タケエイ)	325	316	1,423	1,445
のれん償却(連結)	12	95	305	387

※百万円未満 四捨五入

<従業員数・車両台数>

	2020/12末	2021/3末	2021/6末
期末従業員数(人)			
連結	1,355	1,358	1,370
(うち ㈱タケエイ)	625	624	647
収集運搬車両(台)単体	304	305	304
内、復興PJでの使用台数	38	42	42

事業	内容	金額
㈱タケエイ	設備・車両更新、大木戸処分場拡大など	2億円
㈱門前クリーンパーク	処分場造成工事など	0.5億円
花巻バイオチップ㈱	中間処理設備設置など	0.8億円
㈱タケエイグリーンリサイクル	設備・車両更新	0.6億円
㈱タケエイ林業	山林取得費用	0.4億円

事業	内容	金額
㈱タケエイ	設備・車両更新、処分場拡大など	21億円
イコールゼロ㈱	設備・車両更新	3億円
㈱門前クリーンパーク	処分場造成工事	14億円
㈱タケエイグリーンリサイクル	設備・車両更新	3億円
花巻バイオチップ㈱	中間処理設備整備	3億円

単位：百万円(百万円未満切捨て)

	2021/3 <実績>		2022/3 <予想>			上期 <予想>		下期 <予想>	
	売上高	売上高比	売上高	売上高比	前年同期比	売上高	前年同期比	売上高	前年同期比
売上高	42,062	—	45,000	—	+7.0%	21,700	+10.3%	23,300	+4.1%
営業利益	4,067	9.7%	4,600	10.2%	+13.1%	1,950	+11.4%	2,650	+14.4%
経常利益	3,893	9.3%	4,340	9.6%	+11.5%	1,840	+11.0%	2,500	+11.8%
当期純利益 ◆	2,272	5.4%	2,600	5.8%	+14.4%	1,100	+28.4%	1,500	+6.0%

◆親会社株主に帰属する当期純利益

・ 前回発表時（2021年5月14日）の連結業績予想から修正はありません。

※当社とリバーホールディングス株式会社との共同持株会社設立（株式移転）による経営統合が与える影響及び相乗効果は、この業績予想には含みませんが、共同持株会社設立後に開示する中期経営計画に織り込む予定です。

【ご参考】リバーホールディングス株式会社との経営統合について

本年3月18日に公表した、当社とリバーホールディングス株式会社との共同持株会社設立（株式移転）による経営統合について、6月23日開催の当社第45期定時株主総会、及び6月30日開催のリバーホールディングス株式会社臨時株主総会において承認されました。10月1日の『TREホールディングス株式会社』設立に向け、着実に取り組んで参ります。ご期待下さい！



株式会社タケエイ 阿部社長とリバーホールディングス株式会社 松岡社長

今後のスケジュール

- 8月中 ロゴマーク、キャッチコピー決定
- 9月29日 両社上場廃止
- 10月1日 TREホールディングス株式会社 東証第一部上場予定
中期経営計画公表予定

よくあるご質問にお答えします

- Q 今保有しているタケエイ株式は、上場廃止後はどうなるのか？
- A TREホールディングス株式に自動的に引き継がれます。
- Q タケエイは無くなるのですか？
- A 事業会社として存続します。無くなりません。
- Q TREとしての業績見通しを知りたい。
- A 中期経営計画にてお示ししますので、今しばらくお待ちください。

千葉県東金市における木質バイオマス発電事業計画

木質バイオマス発電所予定地



千葉県の中央部に位置する東金市は、古くから物流の集散地として賑わってきたほか、幹がまっすぐで太さも一定という木材として優れた性質を持つ「山武杉」の産地として知られています。近年、「溝腐れ病」による山武杉の腐朽被害が拡大しており、材としての価値が失われるだけでなく、台風などの強風で倒れ、停電や交通の分断等を引き起こす恐れがあります。

既に(株)花巻バイオマスエナジーでは、「松くい虫」によって枯死した特産のアカマツについて、研究・実験を重ねた結果、発電燃料としての活用に成功しています。

こうした背景をふまえ、当社がこれまで養ってきたノウハウを活かし、地元森林事業者の皆様よりご協力をいただきながら、千葉県内の森林間伐材を燃料とする木質バイオマス発電事業への参入について計画することといたしました。

現在計画している発電施設の概要

(1) 事業予定地	千葉県東金市山田 (千葉県木材市場協同組合の敷地を借地予定)
(2) 年間運転日数	330日/年(予定)
(3) 発電出力	9,990kW 年間消費電力量は一般家庭 約 22,000 世帯分に相当 (一般家庭の消費電力量を 300kWh/月として試算) ※2021年6月1日現在の東金市世帯数...27,337 世帯
(4) 売電方法	固定価格買取制度(FIT)による売電
(5) 売電開始	2024年頃を予定

(株)門前クリーンパークの工事進捗報告

航空写真 (2021年7月)



防災調整池付近の造成工事



残土仮置場の造成工事



引き続き環境などに配慮し、安全に工事を実施してまいります。

免責事項

- 本資料に記載の内容は、過去及び現在の事実に関するものを除き、当社が現時点で入手可能な情報及び仮説に基づいて判断されたものであり、当該仮説や判断に含まれる不確定要素や、将来の経済環境の変化等により影響を受ける可能性があり、結果として当社および当社グループの将来の業績と異なる可能性があります。
- なお、本資料における将来情報に関する記述は上記のとおり本資料の日付(またはそこに別途明記された日付)時点のものであり、当社は、それらの情報を最新のものに随時更新するという義務も方針も有しておりません。
- また、本資料に記載されている当社ないし当グループ以外の企業等にかかわる情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性・適切性等について当社は何らの検証も行っており、また、これを保証するものではありません。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。